

「外出もままならない」

札幌厚別区
もみじ台団地

団地に住む高齢者の生活・健康実態調査を開始—もみじ台内科



団地の階段を、酸素ポンペを抱えてもらい必死で上がる。

造成から39年がたつ厚別区のもみじ台団地には、約2万人が居住しており、もみじ台内科診療所に通う患者さんも多くいます。5階建ての団地には、呼吸器の疾患を持った人や在宅酸素療法をしている患者さんも少なくありません。特に3階以上に住む高齢者にとっては、日常の昇り降りが大変で、出かけずらい実態があります。

もみじ台内科では在宅酸素の人が「通院日は『恐怖の日』」と言ったのをきっかけに、団地の患者さんの生活・健康実態調査を開始しました。7/26は職員と医学生17人がチームを組み、患者さんを訪問し聞き取り調査を行いました。呼吸器疾患の人にはサーチラッシュで階段昇降時の酸素濃度を測り、データも集めました。参加した医学生は「階段のために外出すらできない実態を見て、エレベーターや、障がい者を1階に移すなどの必要性を感じた」と話していました。

診療所では9月末までに145人以上の調査を目標にし、友の会員の協力も得て訪問を続けています。

各地・院所などで**平和・原水禁**のとりくみ

- 室蘭診療所は労組支部・社員支部と共催で、8/2～原爆パネル展を診療所待合室で開催中。患者さんが「原爆はひどい」と見入っています。
- 札幌菊水ビルで7/28白石・厚別原水禁世界大会代表壮行会開催。札幌・保健企画・柏ヶ丘・かりふ・新婦人等の代表と職員・地域の人200人が参加。医局合唱団やコンサートもありました。
- 苫小牧病院はひまわり薬局と共同し、7/14樽前神社祭りで原水禁の署名行動を15人で行いました。7/18～20に連鎖学習会60人参加。7/24に原水禁代表壮行会を60人参加で開きました。
- みなみ診は7/29に原水禁代表派遣ビアパーティーを開催。職員・地域から150人参加。
- 10条クリニック7/24に「音楽と詩の朗読の夕べ」を待合室で開催。職員・患者さん35人参加。
- 中病6病棟は7/29に原水禁の学習会と、代表の壮行会を開催。岩本東友の会副会長が戦争体験などを講演、職員・患者さん50人が参加しました。
- 柏ヶ丘7/26代表壮行会と戦争体験を聞く会開催



→ 室蘭写真展
→ 白石・厚別壮行会
→ みなみ原水禁壮行会
→ 樽前神社祭署名行動
→ 中病六病棟壮行会
→ 十条コンサート



2006年原水禁大会—48人が参加

共同デスク

No. 4 1 7 2006年8月3日

北海道勤医協本部組織広報部
TEL 823-0867 fax 821-3701

2006年原水禁世界大会は、8/4～6日に広島でメイン大会が行われます。北海道勤医協の関係では、職員・社員・友の会・看護学生ら48人が参加します。

8/3に千歳を出発します。暑さに負けず、皆さん学んで来て下さい。

院所	職員	地域	院所	職員
中病	8		月寒	1
丘珠	2		みなみ	2
看学		学生 2	当別	1
東社員		1	小樽	1
札幌	5	1	余市	1
北区	2	1	黒松内	2
西区	7	1	上砂川	1
苫小牧	3	1	芦別	1
柏ヶ丘	2		在宅	2